
取扱説明書

PF-CM101B

DVR Built-In Camera



本製品の設置前に必ずこちらの取扱説明書をよくお読み下さい。
また、操作等の確認の為に必ずお手元にお持ち下さい。

株式会社 日本防犯システム

取扱上の注意

1. 設置前によく取扱説明書をお読み下さい。
はじめにこの取扱説明書をよく読み操作手順をご確認下さい。
2. 天井に取付ける際には、カメラの重さに十分考慮し設置してください。
故障の原因となりますので、カメラを落としたり、強い衝撃や振動を与えないで下さい。
3. 電磁波のある場所へのカメラの設置は避けてください。
テレビ・無線機・磁石・電機モーター・変圧器・スピーカーの近くに設置しないで下さい。
これらの装置から発生する電磁波がビデオ映像を歪める恐れがあります。
4. カメラ本体から高熱及び煙が発生した場合には、即座に使用を停止し購入先へお問合わせ下さい。
5. カメラを分解しないで下さい。
人体に危険を及ぼす危険がある為、カメラ本体を分解しないで下さい。分解した場合は保証対象外となります。故障の際には、購入先へお問合わせ下さい。
6. カメラを直射日光へ向けしないで下さい。
使用・不使用中に関わらず、カメラを日光やその他、極端に明るい場所に向けしないで下さい。
7. 濡れた手で電源コードや電源コネクタ付近を触らないで下さい。
感電の恐れがありますのでご注意下さい。
8. カメラをオイルやガスが発生する付近で使用しないで下さい。
湿気・水分・塵等で電氣的障害を引き起こす原因となりますので、カメラを屋外へ設置される場合は、カメラハウジングをご使用下さい。
9. クリーニング。
CCDセンサーの表面を直接、手で触れないで下さい。カメラ本体の汚れを落とす際には、柔らかい布を使用し軽く拭き取って下さい。CCDセンサー及びレンズのクリーニングには、エタノールで濡らしたレンズ用洗淨紙または綿棒を使用して下さい。カメラを使用しない時には、レンズマウントにキャップをしてください。
10. 指定された温度・湿度以上の環境下でのご使用はお控え下さい。
気温-10～50℃、湿度90%以下の環境、電源は DC12V のものをご使用ください。
11. オプション品について。
危険を及ぼす可能性が有るため、メーカーによって推奨されない製品は使用しないで下さい。
12. 雷が鳴り出したら、カメラ・電源プラグ・配線コードに触れないようにして下さい。
感電の原因となります。

目次

1. 製品特長・仕様	3
2. 各部名称とその機能	4
2.1 名称と機能	4
2.2 レンズの取付け	4
3. カメラ設定	5
3.1 ボタン説明	5
3.2 ディスプレイセットアップメニュー	6
4. カメラメニュー	7
4.1 レンズ	7
4.2 シャッター	7
4.3 ホワイトバランス	8
4.4 逆光補正	9
4.5 オートゲインコントロール	10
4.6 ダイナミックノイズリダクション	10
4.7 センスアップ	11
4.8 スペシャル	11
4.8.1 カメラID	12
4.8.2 カラー調整	12
4.8.3 同期	13
4.8.4 動体検知機能	13
4.8.5 プライバシー	14
4.8.6 ミラー	14
4.8.7 シャープネス	15
4.8.8 リセット	15
4.8.9 戻る	15
4.9 終了	15
5. DVR設定	16
5.1 映像の記録 (SDカード) について	16
5.2 メニュー画面の出し方	16
6. DVRメニュー	17
6.1 メインメニュー	17
6.2 録画設定	17
6.2.1 データの上書き	17
6.2.2 プリ録画	17
6.3 ビデオ画質設定	18
6.3.1 画質	18
6.3.2 ポスト録画時間	18
6.3.3 フレームレート	18
6.3.4 プリ録画時間	18
6.3.5 記録容量残	18
6.3.6 記録時間残	18
6.4 イベント設定	19
6.4.1 アラーム設定	19
6.4.2 動体検知設定	20
6.4.3 スケジュール設定	20
6.5 検索再生	21
6.5.1 メニュー画面から検索	21
6.5.2 リモコンダイレクト検索	22
6.6 サブメニュー	23
6.6.1 パスワード変更	23
6.6.2 時間設定	24
6.6.3 明度設定	24
6.6.4 音声設定	24
6.6.5 ビデオ設定	25
6.6.6 メモリーシンク	25
6.7 初期化	25
故障かなと思ったら	26
録画時間目安表	26
アフターサービスと保証	27

1. 製品特長・仕様

このカメラの設定は、『カメラ背面操作によるカメラ設定』と『リモコン操作によるカメラ設定』の2種類に分かれています。

《カメラ特長》

- 走査線 : 550本
- 16ビットデジタルシグナルプロセッサ (DSP) 搭載で、高品質画像を映し出します。
- デイナイト切替スイッチ
- 最低被写体照度 : 0.2 Lux (カラー)、0.0001 Lux / F=1.2 (センスアップモード時)
- OSDメニューにて簡単設定
- 動体検知・プライバシー機能搭載

《DVR特長》

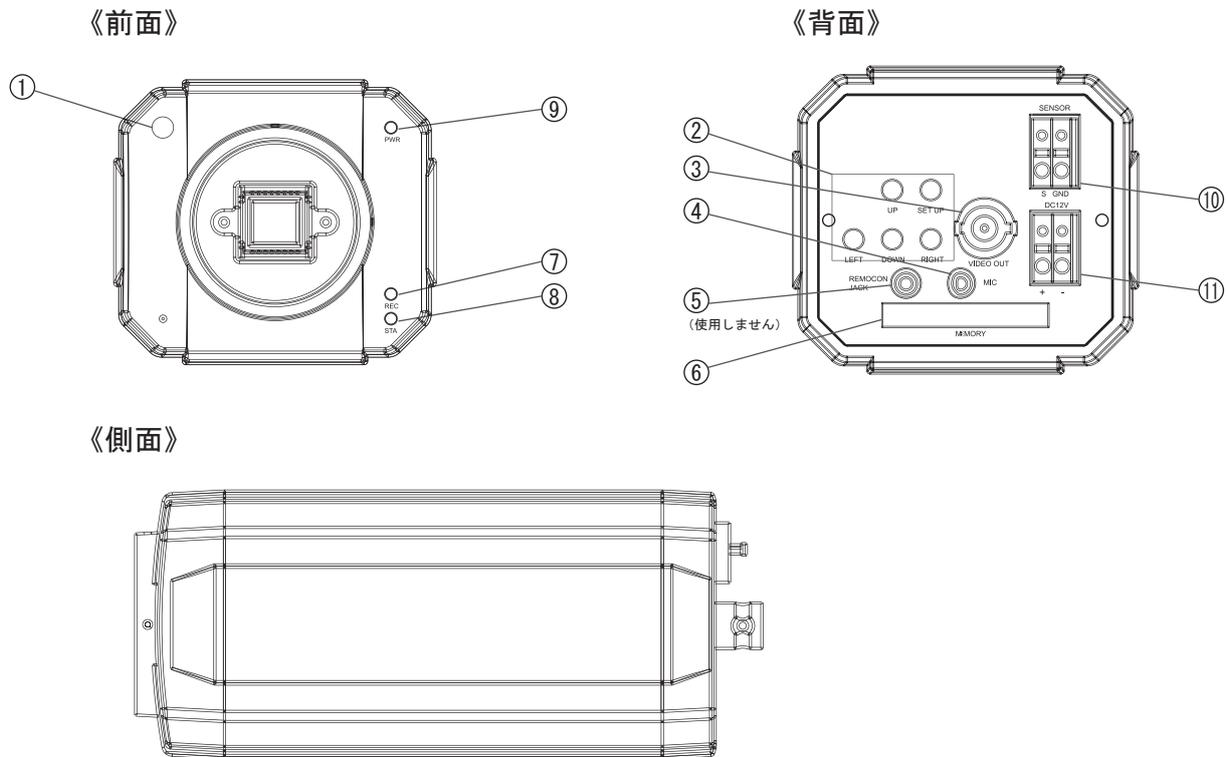
- カメラ本体に録画機能搭載 (SDHCカード)
- H.264 圧縮方式を採用
- 録画方法 : 通常録画 / スケジュール録画 / 動体検知録画
- PCにて録画映像の再生が可能です。(※付属の専用ソフトが必要です。)

《仕様表》

仕様 (カメラ本体)	
映像信号方式	NTSC
画素数	約 41 万画素
水平解像度	550TV本以上
最低被写体照度	カラー : 0.2Lux (F2.0) / Sens-up mode : 0.0001Lux (F1.2)
S/N比	50 dB以上 (AGC Off 時)
CCD	1/3 Hi-Resolution Super HAD CCD
メニュー画面	OSD (オンスクリーン・ディスプレイ)
有効画素数	768 (H) × 494 (H)
AES	1/60~1/100,000 Auto
逆光補正	ON / OFF
フリッカーレス	ON / OFF
AGC	ON / OFF
ホワイトバランス	オートトラッキングホワイトバランス
レンズマウント	CSマウント
電源	DC12V
消費電力	290mA
動作温度	-10~55°C
環境湿度	90%以下 (但し結露しないこと)
外形寸法	63 (W) × 64.5 (H) × 121.5 (D)
重量	約360g
仕様 (録画装置)	
圧縮方式	H.264
OS	RTOS
表示速度	NTSC : 30 frame / sec
録画速度	NTSC : 30 frame / sec
録画モード	通常録画、スケジュール、動体検知 (プリ録画機能付き)
記憶装置	SDHCカード
入出力端子	1Port (BNC-J)

2. 各部名称とその機能

2.1 名称と機能



①	リモコン受光部	リモコン使用時(DVR設定時)は、受光部に向けて操作してください。
②	カメラ設定ボタン	カメラ撮影に関する各種設定を行います。 ※詳細は『4. カメラメニュー』をご参照下さい。
③	映像出力端子	出力端子(BNC-J)に、BNCコネクタ(BNC-P)を接続します。
④	音声入力端子	外部機器を使用して、音声入力時に使用します。
⑤	リモコンジャック	(本機では使用しません)
⑥	SDカードスロット	SDHCカードを使用します。
⑦	『REC』ランプ	録画開始で点滅します。
⑧	『STA』ランプ	録画 / センサー感知(センサー接続時) / エラー時、に点灯します。
⑨	『PWR』ランプ	電源投入を行うと点灯します。
⑩	センサー入力端子	センサー録画時(外部機器接続時)に使用します。
⑪	電源入力端子	DC12電源アダプタを接続します。

2.2 レンズの取付け

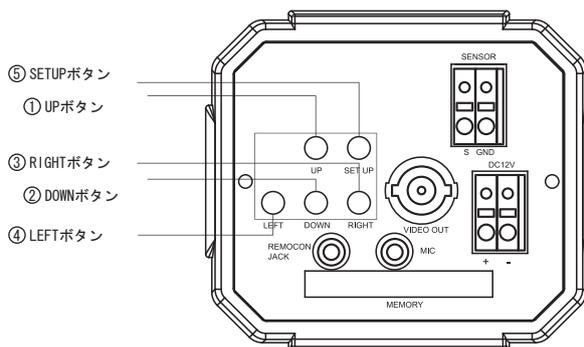
- ・ レンズマウントを取外し、レンズ取付を行います。
- ・ Cマウントタイプのレンズを取付ける場合は、付属のアダプタリングをカメラ側に接続してください。
- ・ オートアイリスレンズをご使用時の場合は、カメラ本体側面にある『オートアイリス・レンズコネクタ』にレンズ側のケーブルを接続します。

3. カメラ設定

本カメラはOSD（オンスクリーンディスプレイ）にてカメラの設定を行います。
カメラ設定を行うにはカメラ背面の各種設定ボタンを使用します。

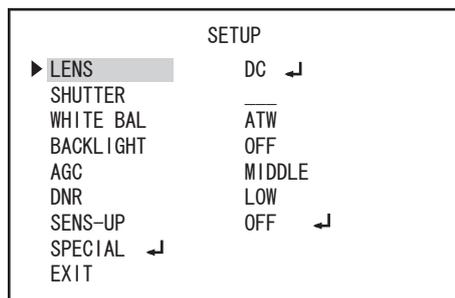
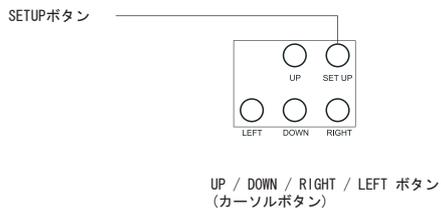
※リモコン操作にてカメラ設定を行うことはできません。ご注意ください。

3.1 ボタン説明：

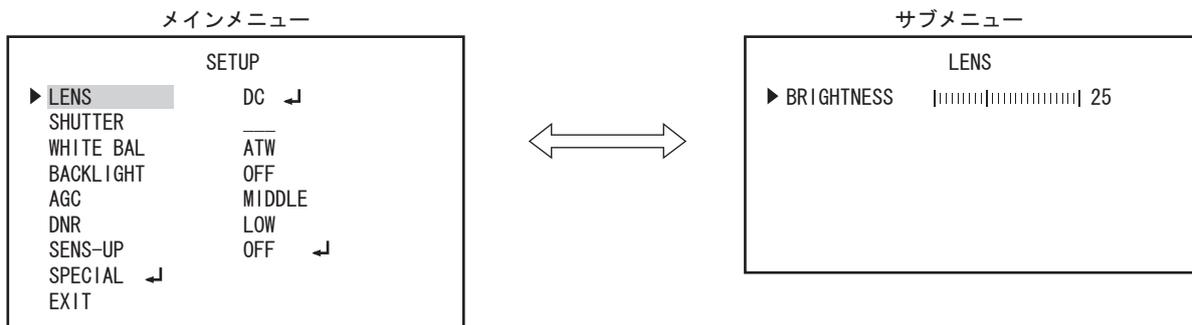


- ① UPボタン : SETUPメニューのカーソルを上へ移動します。
- ② DOWNボタン : SETUPメニューのカーソルを下へ移動します。
- ③ RIGHT : SETUPメニューの設定値（パラメーター）設定モード変更に使用します。
- ④ LEFT : SETUPメニューの設定値（パラメーター）設定モード変更に使用します。
- ⑤ SET UPボタン : サブメニュー設定時に使用します。メニュー内の  までカーソルを移動しSETUPボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

3.2 ディスプレイセットアップメニュー



1. SETUPボタンを押す。
右図の SETUPメニューが表示されます。
2. カーソルボタンの使用。(UP / DOWN / RIGHT / LEFT)
UP または、DOWN ボタンを押しカーソルを上下に動かします。
LEFT または、RIGHT ボタンを押し、設定値(パラメータ)設定のモードを変更します。
3. サブメニュー画面表示切替。
SETUP 各種メニュー項目にサブメニューがある時は、カーソルを移動し項目を選択し、SETUP ボタンを押し、サブメニュー画面に表示を切替えます。



※記号 ◀ があるメニュー項目には、詳細設定のためのサブメニューがあります。

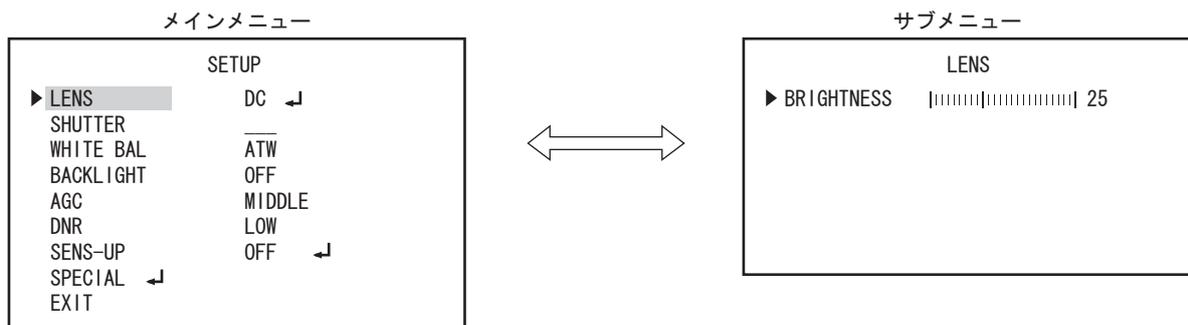
4. 前ページに戻る。(メインメニューへ戻る)
UP / DOWN / RIGHT / LEFT ボタンを使用し、カーソルを EXIT に移動し、SETUP ボタンを押します。

4. カメラメニュー

4.1 レンズ (LENS)

レンズの種類を選択します。

1. SETUPボタンを押すと下図のメインメニュー画面がモニターへ表示されます。
2. UP / DOWNボタンで ”LENS” を選択します。
3. LEFT / RIGHTボタンで、ご使用になるレンズの種類を選択して下さい。



《補足》

ご使用になるレンズの種類をご確認ください。

- オートアイリスレンズご使用時は、“DC” を選択して下さい。
- マニュアルアイリスレンズご使用時は、“MANUAL” を選択して下さい。

オートアイリスレンズ (“DC” 選択時) 使用時には画面の明るさを 1~70 の間で設定が可能です。

- セットアップメニュー ”LENS” を選択し、SETUPボタンを押すと、LENSサブメニュー画面が表示されます。

4. SETUPボタンを押し、メインメニュー画面に戻ります。

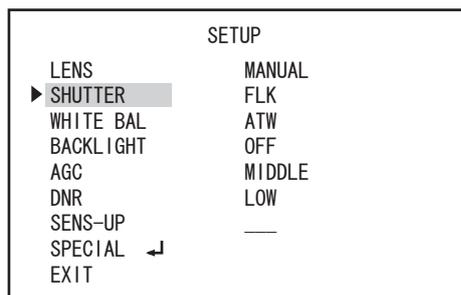
4.2 シャッター (SHUTTER)

シャッタースピードの設定を行います。

1. UP / DOWNボタンで “SHUTTER” を選択します。
2. LEFT / RIGHTボタンで、シャッタータイプを選択します。
(FLK / ESC / MANUAL より選択します。)

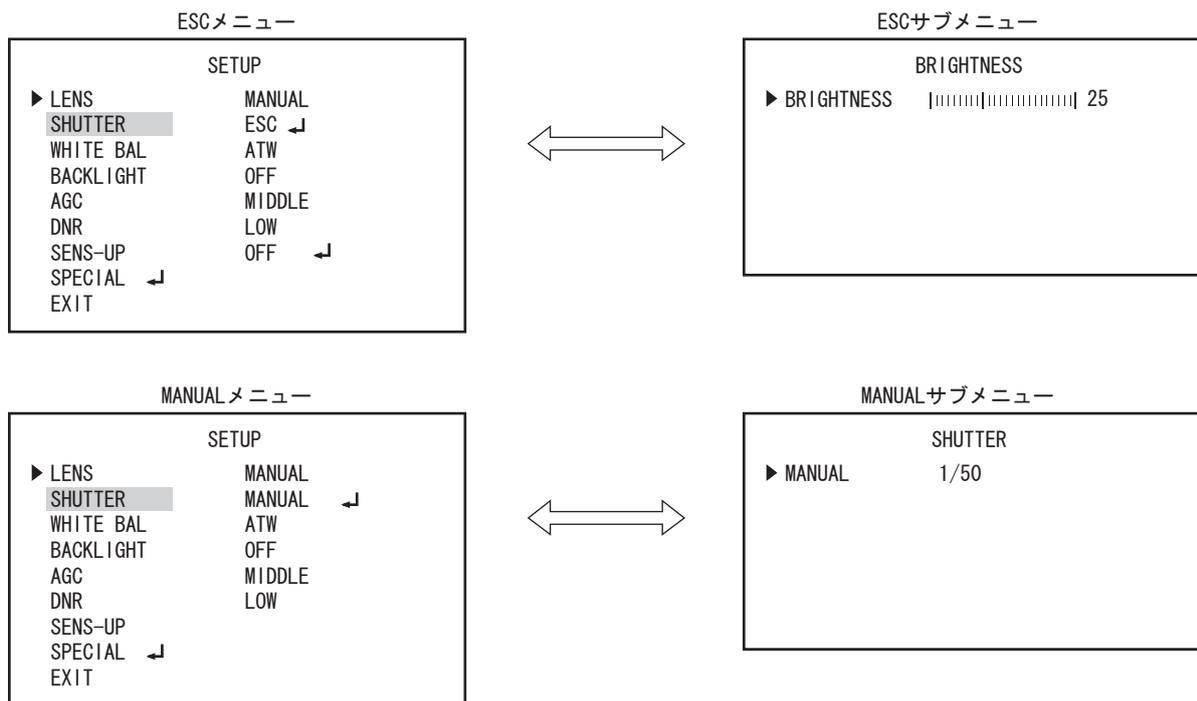
→ FLK(フリッカレス) : 50Hz地域の室内(蛍光灯下)でカメラを使用する場合に選択してください。(NTSC : 1/100で設定されます)

- ※ レンズタイプを”DC” 選択した場合は、シャッタータイプは、“FLK” のON / OFFの選択となります。
- ※ レンズタイプを”Manual” 選択した場合は、シャッタータイプは、“FLK / ESC / MANUAL” の3つからお選び頂けます。



→ ESC : ESC選択時にはシャッタースピードが自動で制御されます。

→ ESC選択時には画面の明るさを1~70の間で設定可能です。
(ESCサブメニュー参照)



→ Manual : シャッターを手動で制御する際に選択します。

3. SETUPボタンを押しメインメニューに戻ります。

《補足》

LENSメニューにて DC選択時にはシャッタースピードが 1/60 (NTSC) で固定されています。

SHUTTERメニューで” MANUAL” ” FLK” 選択時には” SENS-UP” メニュー機能はご使用になれません。

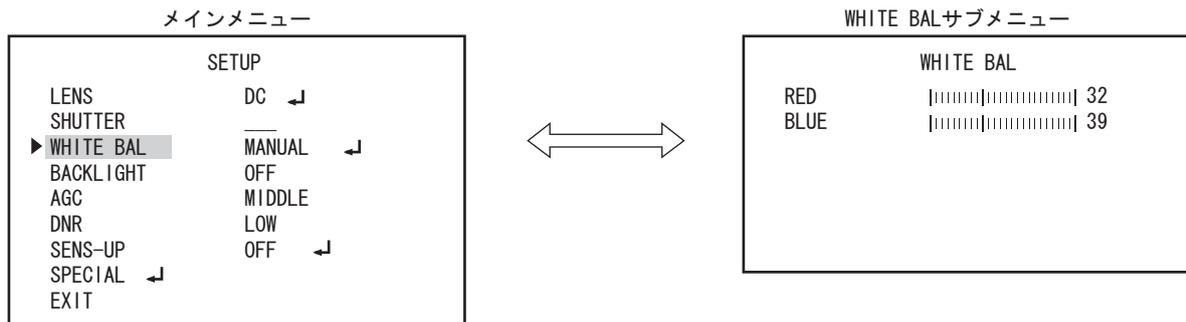
4.3 ホワイトバランス (WHITE BAL)

ホワイトバランス調整を行います。

1. UP / DOWNボタンで ” WHITE BAL” を選択します。
2. LEFT / RIGHTボタンで、モード選択をしてください。

下記3種類のモードより1つ選択して下さい。

- ATW(オートトラッキングホワイトバランス/Auto Tracking White Barance) :
2,500° Kから8,300° Kの範囲で設定可能です。
《設置場所例》 蛍光灯、屋外、ナトリウム灯、トンネル内部
- AWC(オートホワイトバランス/Auto White Barance Control) :
カメラのフォーカスを白色の対象物に合わせ、SETUPボタンを押し、白の標準として設定する事が可能です。光源、環境が変わった時は、再度調整を行ってください。
- MANUAL : 詳細な設定を行う場合に選択します。
 - i. “ATW” または “AWC” で調整出来ない場合は “MANUAL” を選択して下さい。
 - ii. “MANUAL” を選択し、SETUPボタンを押し、WHITE BALサブメニューにて、“RED BLUE” の色温度の調整を行います。



《補足》

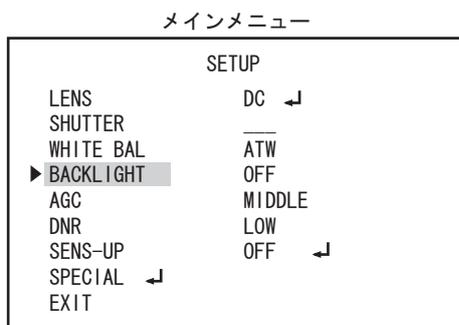
下記のような設置環境時には、“AWC”での設定を推奨致します。

- ・ カメラ設置対象物および周囲の色温度が高い場合。
- ・ カメラ設置対象物および周囲が暗い場合。
- ・ カメラ設置対象物が直接蛍光灯であるか、または光源の明暗の変化が激しい場所でのホワイトバランス機能は不安定になる可能性があります。

4.4 逆光補正 (BACKLIGHT)

カメラ撮影対象物の後ろに、明るい(逆光・ライト)環境がある場合などにバックライト・逆光補正の設定を行います。

1. UP / DOWNボタンで “BACKLIGHT” を選択します。
2. LEFT / RIGHTボタンで、レベル選択をします。



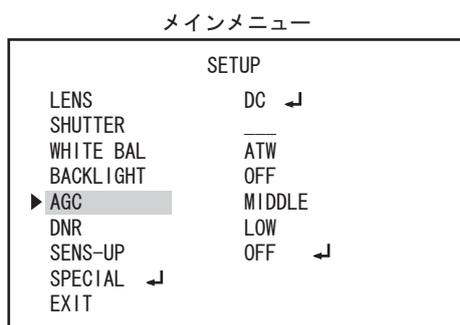
- ・ HIGH : ゲインレベル 0dB～42dB
- ・ MIDDLE : ゲインレベル 0dB～30dB
- ・ LOW : ゲインレベル 0dB～18dB
- ・ OFF : BACKLIGHT機能を使用しない。

4.5 オートゲインコントロール (AGC : Auto Gain Control)

1. UP / DOWNボタンで “AGC” を選択します。
2. LEFT / RIGHTボタンでレベル選択をします。

- ・ HIGH : ゲインレベル 6dB~42dB
- ・ MIDDLE : ゲインレベル 6dB~30dB
- ・ LOW : ゲインレベル 6dB~18dB
- ・ OFF : ゲインレベルは 6dBに固定されます。

《注意》 設定レベルが高い程、モニターの画像は明るくなり、ノイズは増えます。



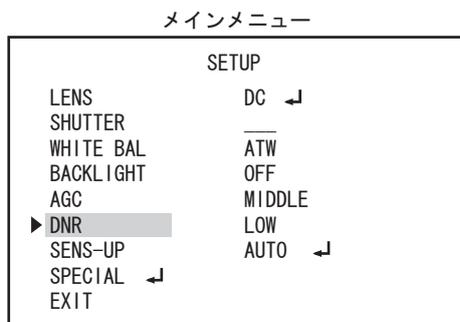
4.6 ダイナミックノイズリダクション (DNR : Dynamic Noise Reduction)

ダイナミックノイズリダクションの効果は下記のようになります。

1. イメージはより明るく、シャープになります。
2. ノイズが低減されることにより、画像がより鮮明に改善されます。
3. ノイズが低減されることにより、イメージファイルが縮小され、長時間デジタル録画可能です。

ゲインレベルを変更することにより、低照明環境においてのバックライトノイズが自動的に減少されます。

1. UP / DOWNボタンで “DNR” を選択します。
2. LEFT / RIGHTボタンでレベル選択をします。



- ・ OFF : ノイズレベル調整なし
- ・ LOW : 低ノイズ低減
- ・ MIDDLE : 中ノイズ低減
- ・ HIGH : 大ノイズ低減

《補足》

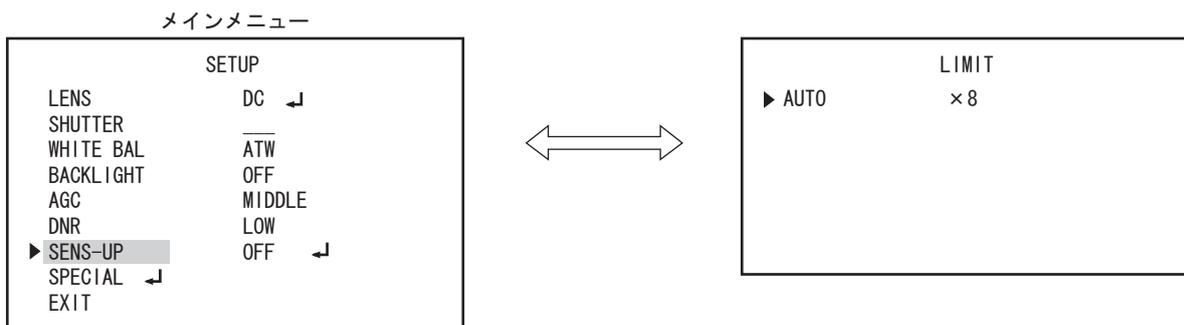
“AGC” 機能が OFF の場合は、“DNR” 機能の設定はご使用になれません。

※初期設定は LOWです。

4.7 センスアップ(感度) (SENS-UP)

センスアップにより低照明環境時でも、鮮明な画像を撮影出来ます。

1. UP / DOWNボタンで “SENS-UP” を選択します。
2. LEFT / RIGHTボタンでレベル選択をします。
 - ・ AUTO : 低照明環境時で感度を自動で調整します。(2~128倍まで)
 - ・ OFF : 感度調整機能を使用しない。



※初期設定は“AUTO”の”8倍”です。

《補足》

“SHUTTER”設定で“Manual”モードを選択すると、“SENS UP”機能の設定はご使用になれません。

“AGC”設定を“off”の場合、“SENS-UP”機能の設定はご使用になれません。

3. SETUPボタンを押し設定を終了します。

《補足》

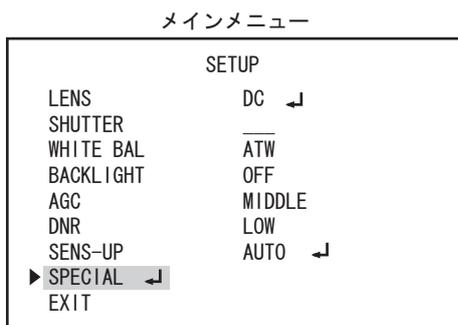
低照明環境での動きのある対象物の撮影を行う時は“AUTO”設定を推奨します。

画像拡大を行うと、画面が実際より明るく表示されます。

“SENS-UP”機能をご使用いただくと、画像にノイズがでる場合があります。

4.8 スペシャル (SPECIAL)

1. UP / DOWNボタンで “SPECIAL” を選択します。



2. LEFT / RIGHTボタンで設定項目の選択をします。

4.8.1 カメラID (CAMERA ID)

カメラIDを入力します。(モニター上に表示されます。)

1. UP / DOWNボタンで “CAMERA” を選択します。
2. LEFT / RIGHTボタンで “ON” にします。
3. SETUPボタンを押します。
4. 最大15文字の英数字の ID を入力します
→ UP / DOWN / LIGHT / LEFT ボタンでカーソルを移動し、英数字を選択します。
→ SETUP ボタンを押し、英数字を選択します。
5. カメラIDを入力後に、モニター上でのID表示場所を選択します。
→ カーソルを “POS” に移動し、SETUPボタンを押します。
→ カメラIDはモニター左上に表示されます。
→ UP/DOWN/LIGHT/LEFT ボタンでID表示場所を決定します。
6. ID入力を止めるときは、カーソルを “CLR” に移動すると、入力した全ての英数字が消去されます。
7. “END” を選択し、ID設定を終了します。

SPECIALサブメニュー

SPECIAL	
▶ CAMERA ID	ON
COLOR	ON
SYNC	INT
MOTION DET	OFF
PRIVACY	OFF
MIRROR	OFF
SHARPNESS	ON ←
RESET	
RETURN	←

ID設定画面 (英数字)

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
-	.		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
←	→			CLR				POS				END

4.8.2 カラー調整 (COLOR)

“ON” または “AUTO” より選択します。

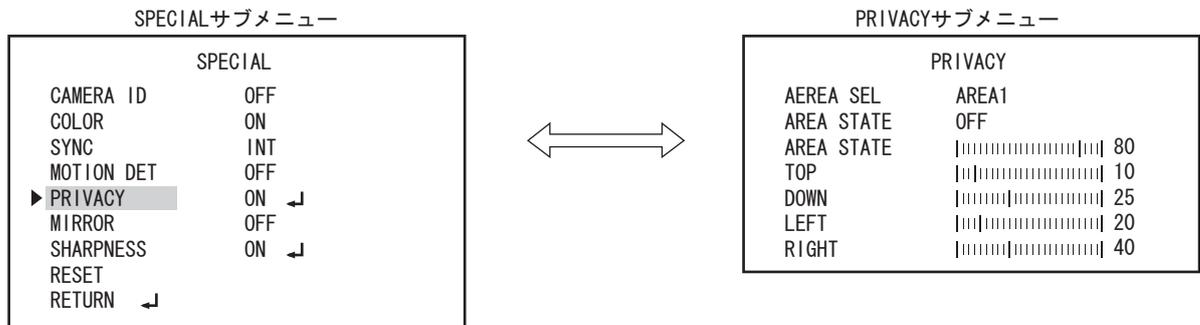
SPECIALサブメニュー

SPECIAL	
CAMERA ID	OFF
▶ COLOR	ON
SYNC	INT
MOTION DET	OFF
PRIVACY	OFF
MIRROR	OFF
SHARPNESS	ON ←
RESET	
RETURN	←

4.8.5 プライバシー (PRIVACY)

※画面中の任意の場所のプライバシー保護(マスキング)を行います。

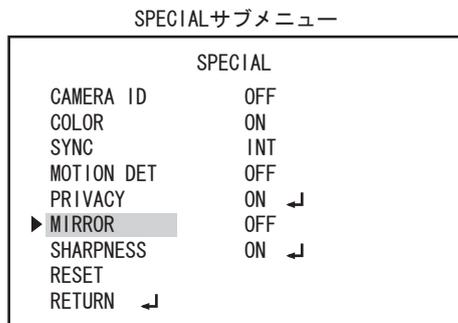
- ・ OFF : “PRIVACY” 機能を使用しません
- ・ ON : “PRIVACY” 機能を使用します
- SETUPボタンを押し詳細設定を行います。



- “AREA SEL” を選択し、プライバシーエリアの設定を行います。
(4つのエリアより選択可能です)
- “AREA STATE” をONにし、エリア詳細設定を行います。
- UP/DOWN/LIGHT/LEFT ボタンでエリアサイズの調整を行います。

4.8.6 ミラー (MIRROR)

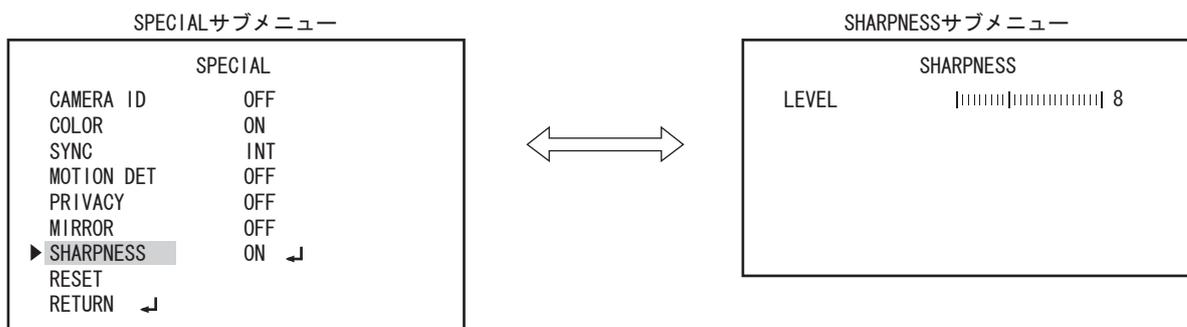
- ・ ON : 左右の画面が逆に表示されます。(鏡に映したように表示されます)
- ・ OFF : 通常の画面が表示されます。



4.8.7 シャープネス (SHARPNESS)

※SHARPNESS機能により、輪郭補正を行い、より鮮明な画像を得ることが出来ます。
《注意》” SHARPNESS” レベルが高すぎると、ノイズが発生することがあります。

- ・ ON : “SHARPNESS” 機能を使用します
- ・ OFF : “SHARPNESS” 機能を使用しません
- SETUPボタンを押し、レベルの調整を行います。
- 0～31の範囲でレベル調整を行います。



4.8.8 リセット (RESET)

※初期設定を行います。



4.8.9 戻る (RETURN)

※SPECIALメニュー設定後、RETURNを押し、メインメニューに戻ります。



4.9 終了 (EXIT)

※すべてのメニューを設定し、EXITを押し設定を保存します。

《補足》

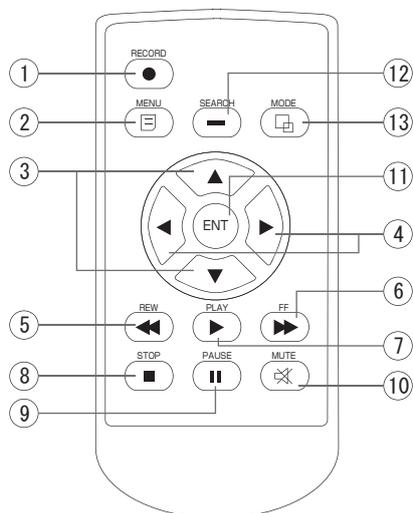
メニュー画面を開いたまま『1分間』経過すると、自動で設定変更内容が保存され、設定メニューを終了します。

5. DVR設定（リモコン操作での設定）

DVR（デジタルビデオレコーダー）部の設定は、本機付属のリモコンにて行います。

※DVR設定を、カメラ背面のボタン操作にて行うことは出来ません。

また、リモコン操作にてカメラ設定を行うことは出来ません。ご注意ください。



《リモコン説明》

1	REC	録画を開始 / 停止します
2	MENU	メニュー画面表示
3	▲ / ▼	上 / 下(メニュー項目上下移動)
4	◀ / ▶	▶ : メニュー項目 右に移動、(早送り速度変更) ◀ : メニュー項目 左に移動、(逆再生速度変更)
5	REW	逆再生
6	FF	早送り
7	PLAY	再生
8	STOP	再生停止
9	PAUSE	再生一時停止
10	MUTE	ミュート
11	ENT	メニュー項目決定
12	-	検索
13	ENT	監視画面 / 再生映像切替

5.1 映像の記録（SDカード）について

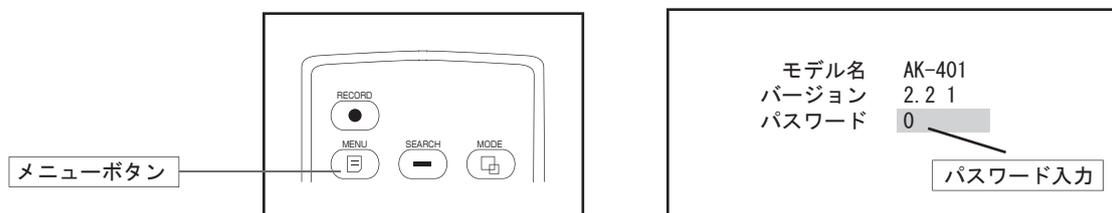
- ・SDカードをカメラに再挿入する時は、必ずPC上でフォーマットをした後ご使用下さい。
- ・SDカードはパソコンでファイルシステムを『FAT32』でフォーマットしてからご使用下さい。
- ・録画された画像は『AKビューア』（別途インストール）でパソコン上でご覧になれます。

5.2 メニュー画面説明（操作は全て付属のリモコンで行って下さい）

録画中はメニュー画面を開くことが出来ません。

※一旦、録画を開始すると『録画画質設定の最小 POST RECTIME』の間は、録画停止が出来ません。

設定している録画コマ数によって『最小POST RECTIME』は変動します。（最小5sec～最大30sec）



メニュー画面を出すには『MENU』ボタンを押し、パスワードを4桁入力します。

工場出荷時はパスワードが [0, 0, 0, 0]

となっていますので、そのまま『ENT』ボタンを4回押します。

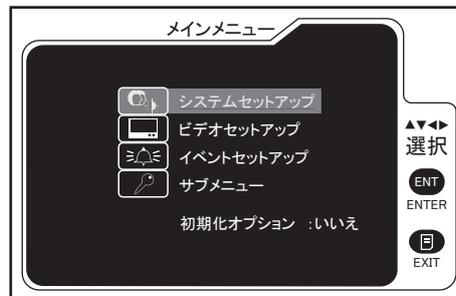
※ [0] 以外の数値を入力する場合は『▲ / ▼』ボタンで数値を変えて『ENT』ボタンを押します。

カーソルが次の桁に移動し同じく『▲ / ▼』ボタンで数値を設定し、『ENT』ボタンを押して下さい。

6. DVRメニュー

6.1 メインメニュー

メインメニューでは、リモコンの『▲ / ▼』ボタンで設定したい項目までカーソルを移動させます。設定したい項目が決まったら『ENT』ボタンを押して下さい。画面は選択した項目に移動します。（下図の例ではカーソルは”システムセットアップ”を選択しています。）

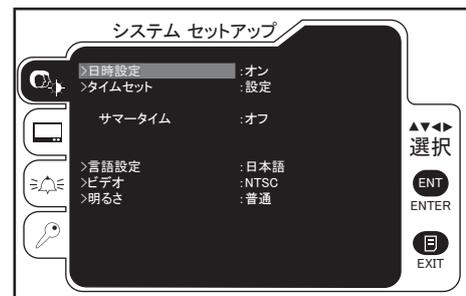


6.2 システムセットアップ

6.2.1 日時設定::オン / オフ

〔システムセットアップ〕〔日時設定〕を選択します。

→画面に日時表示する場合は『オン』にしてください。



6.2.2 タイムセット

〔システムセットアップ〕〔タイムセット〕を選択します。

→“タイムセット”にカーソルを合わせ“ENT”を押すと [年/月/日 時/分/秒] 入力画面が表示され、日時設定を行うことができます。

6.2.2 サマータイム::オン / オフ

サマータイム(一定の期間中、時計の針を1時間進める)を実施しない地域でご使用の場合は必ず『オフ』に設定して下さい。『オン』に設定すると指定した期間だけ1時間進んだ時間表示となります。

6.2.3 言語設定::日本語 / 英語 / 中国語 / オランダ語 / 仏語 / ドイツ語 / スペイン語

〔システムセットアップ〕〔言語設定〕を選択します。

→使用する言語を選択します。

6.2.4 ビデオ

変更できません。

6.2.5 明るさ::高い / 普通 / 低い

〔システムセットアップ〕〔明るさ〕を選択します。

3種類から選択出来ます。

6.3 ビデオセットアップ

6.3.1 解像度::704×480 / 704×240 / 352×240

〔ビデオセットアップ〕〔解像度〕を選択します。

3種類から選択出来ます。

6.3.2 画質::高い / 普通 / 低い

〔ビデオセットアップ〕〔画質〕を選択します。

3種類から選択出来ます。

6.3.3 フレーム数::1 / 3 / 6 / 10 / 15 / 30

〔ビデオセットアップ〕〔フレーム数〕を選択します。

6種類から選択出来ます。

6.3.4 プリレコーディング時間::オン / オフ

〔ビデオセットアップ〕〔プリレコーディング時間〕を選択します。

- ・オン : イベント録画(ALARM : アラーム、MOTION : 動体検知検出)の数秒前からの録画が出来ます。(※解像度・画質の設定により時間が変化します。)

解像度	画質		
	低い	普通	高い
704×480	10秒	15秒	20秒
704×240	20秒	25秒	30秒
352×240	30秒	35秒	40秒

- ・オフ : ALARM : アラームやMOTION : 動体検知検出をしてもプリ録画しません。

6.3.5 ポストレコーディング時間::オン / オフ

〔ビデオセットアップ〕〔ポストレコーディング時間〕を選択します。

イベント録画(ALARM : アラーム、MOTION : 動体検知検出)の終了後からの録画を行います。

(EVENT MODE : イベント設定をONにしておく必要があります)

1秒～59秒 → 1分～30分

↑ ↓

6.3.6 音声録音::オン / オフ

〔ビデオセットアップ〕〔音声録音〕を選択します。

音声を録音する場合は『オン』にしてください。

6.3.7 自動録画::オン / オフ

〔ビデオセットアップ〕〔自動録画〕を選択します。

カメラにオーディオ機能あるとき自動録画が設定できる機能ですが、このカメラにはオーディオ機能はついていませんので使用しません。

6.3.8 上書き::オン / オフ

〔ビデオセットアップ〕〔上書き〕を選択します。

- ・オン : SDカードの容量一杯になると録画された古いデータから上書きします。
- ・オフ : SDカードの容量一杯になった時点で録画停止します。

6.3.9 警告/ディスク容量残なし::オン / オフ

〔ビデオセットアップ〕〔警告/ディスク容量残なし〕を選択します。

SDカード容量が0になった場合、警告を出す場合は『オン』にしてください。



【手動で録画を行うには】

- ・手動で録画をするにはリモコンの【RECORD】ボタンを押してください。
(画面右下に [E] マークを表示)
- ・手動録画を終了するには、再度【RECORD】ボタンを押して下さい。
[E] マークが消えたら録画は停止です。

【MOTION録画を一時止めるには】

- ・ [E] マークを一旦表示してから一定時間 (※1) 経過の後、再度【RECORD】ボタンを押し、録画を停止してください。
(※1) : 一定時間とは設定している録画コマ数によって変動します。
(最小ポストレコーディング時間)

6.4 イベントセットアップ

6.4.1 アラームセットアップ

●アラーム入力::オン / オフ

[イベントセットアップ] [アラーム入力] を選択します。

アラーム入力を使用する場合は『オン』にします。

●入力タイプ::N.C / N.O.

[イベントセットアップ] [入力タイプ] を選択します。

- ・ N.C. : 接続しているセンサーケーブルラインをカットすると (Normal Close) アラーム録画を自動で開始します。
- ・ N.O. : 接続しているセンサーケーブルラインをカットしても (Normal Open) アラーム録画を自動で開始しません。

●アラーム出力::オン / オフ

[イベントセットアップ] [アラーム出力] を選択します。

アラーム出力をする場合は『オン』にします。

●出力タイプ::N.C / N.O.

[イベントセットアップ] [出力タイプ] を選択します。

- ・ N.C. : 接続しているセンサーケーブルラインをカットすると (Normal Close) 警報を発報します。
- ・ N.O. : 接続しているセンサーケーブルラインをカットしても (Normal Open) 警報を発報しません。

●連続アラーム出力::オン / オフ

[イベントセットアップ] [連続アラーム] を選択します。

アラームデバイスに接続するとき (ブザーやサイレン) アラームセットします。

6.4.2 モーション::オン / オフ

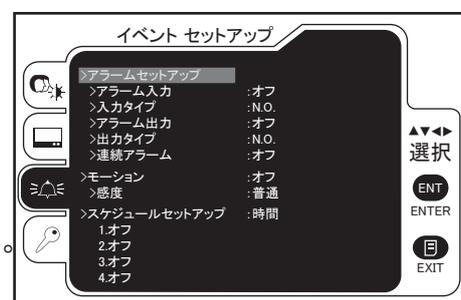
[イベントセットアップ] [モーション] を選択します。

動体検知を使用する場合は『オン』にします。

●感度::高い / 普通 / 低い

[イベントセットアップ] [感度] を選択します。

動体検知を使用する場合の感度を設定します。



6.4.3 スケジュールセットアップ::時間 / 時間&イベント

[イベントセットアップ] [スケジュールセットアップ] を選択します。

- ・時間 : 設定した時間の間、録画を行います。
- ・時間&イベント : 設定した時間の間でイベントが起こった時、録画を行います。

●1~4::オフ / 時間設定

[イベントセットアップ] [1] ~ [4] のいずれかを選択します。

- ・オフ : 機能を使用しません。
- ・日時指定 : 録画する時間を設定します。

《設定手順》

→ 1~4の項目を選択し、『ENT』ボタンを押します。

『▲ / ▼』ボタンで曜日を設定し、『ENT』ボタンで決定します。

『◀ / ▶』ボタンでカーソルを左右に移動し、曜日と時刻の設定を行って下さい。

→ 開始曜日にカーソルを合わせ、『▲ / ▼』ボタンを押すと、
(日曜日~土曜日、オフ)
表示が切り替わります。



■設定例

1. 日曜~土曜 00:00~09:00
 2. 日曜~金曜 18:00~21:00
- の時間帯に録画を行います。

6.5 サブメニュー

6.5.1 パスワード設定::はい / いいえ

[サブメニュー] [パスワード設定] を選択
します。

- ・はい : パスワードを使用します。
- ・いいえ : パスワードを使用しません。

●パスワード変更

《設定手順》

→ 現在パスワードの項目を選択し、『ENT』ボタンを押します。

『▲ / ▼』ボタンで現在のパスワードを入力します。

→ 新規パスワードの項目に移動しますので、変更するパスワードを入力します。

→ 確認パスワードの項目に移動しますので、新規パスワードで入力したパス
ワードを再度入力します。

工場出荷時のパスワードは “0000” です。

※パスワードは確実な管理を行って下さい。

6.5.6 インデックス再作成::はい / いいえ

画像データのインデックスファイルはSDカードに記録されます。インデックスファイルがSDカード内のファイルと一致しない場合、インデックスファイルリストと実際のファイルリストを同期させることができます。

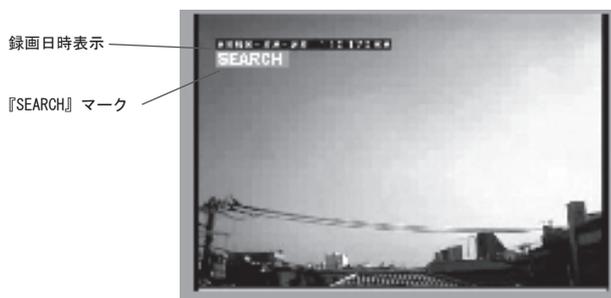
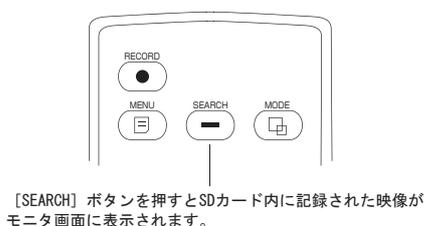
- [サブメニュー] [インデックス再作成] を選択します。
- 『はい / いいえ』の選択を行って下さい。
- 『はい』を選択すると同期作業が始まり、プロセスパーセンテージが表示されます。

6.6 初期化オプション::はい / いいえ

『はい』を選択すると、工場出荷時の状態に戻すことができます。

7 検索リスト

リモコンの『SEARCH』ボタンを使用して録画データを画面表示します。
※パスワード設定が『はい』の場合、パスワード入力画面が表示されます。



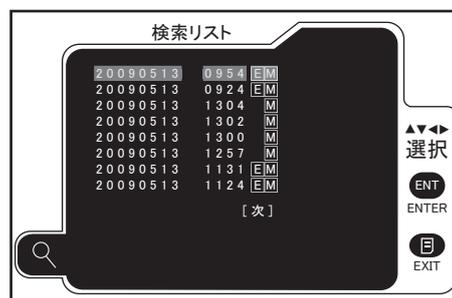
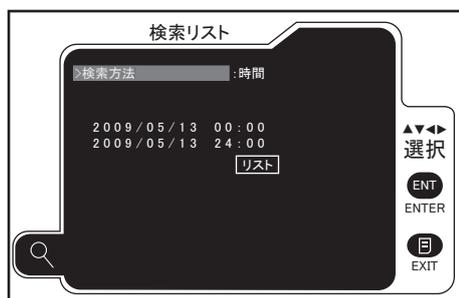
7.1 検索方法

時間 / イベント / 両方 / なし の4つから選択します。

7.1.1 時間で検索 (動体検知録画含む)

[検索リスト] [検索方法] を選択します。

- 設定項目を [時間] に設定します。
- カーソルを [検索方法] に戻し 『▼』 ボタンで、カーソルを下の時間帯へ移動させます。



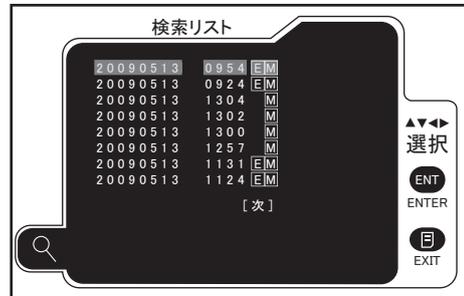
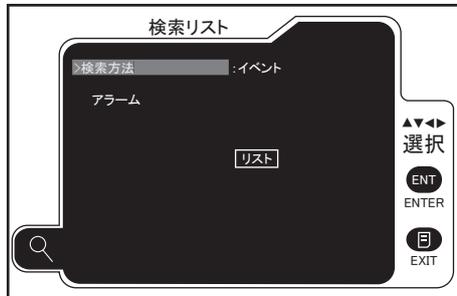
録画の種類
・ M / MOTION 動体検知
・ E / MANUAL 手動

- 『ENT』で決定し、『▲ / ▼ / ◀ / ▶』ボタンで検索したい日付と時間を入力します。
- 『ENT』ボタンで時間帯 (日時全て) をカーソル表示し、『▼』ボタンで [リスト] を決定すると指定した期間内の記録リストと録画の種類が表示されます。
- 再生時間帯 (リスト) をカーソルで選択し、『ENT』ボタンを押すと再生が始まります。
※条件を満たす録画データが無い場合は表示されません。

7.1.2 イベントで検索 (ALARM: 発報、MOTION: 動体検知録画含む)

[検索リスト] [検索方法] を選択します。

- 設定項目を [イベント] に設定します。
- カーソルを [検索方法] に戻し『▼』ボタンで、カーソルを下の [アラーム] へ移動させます。



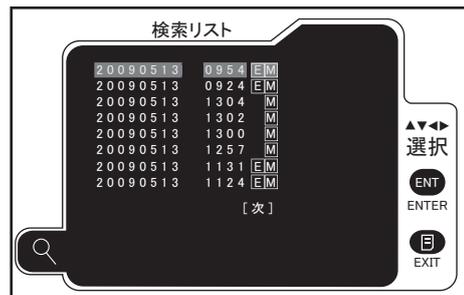
録画の種類
・ M / MOTION 動体検知
・ E / MANUAL 手動

- 『◀ / ▶』ボタンで、検索方法を選択します。
[アラーム / 手動 / モーション / 時間] 個々の検索方法、あるいは複数の組合せによる検索方法を選択できます。
※条件を満たす録画データが無い場合は表示されません。

7.1.3 両方 (時間&イベント) で検索 (ALARM: 発報、MOTION: 動体検知録画含む)

[検索リスト] [検索方法] を選択します。

- 設定項目を [両方] に設定します。
- 1. 時間で検索 / 2. イベントで検索 の手順を参照し、検索条件を設定します。
- 検索条件の入力が終わったら [リスト] へカーソルを合わせ『ENT』ボタンを押します。
※条件を満たす録画データが無い場合、検索データは表示されません。



録画の種類
・ M / MOTION 動体検知
・ E / MANUAL 手動

7.1.3 なしで検索

[検索リスト] [検索方法] を選択します。

- 設定項目を [なし] に設定します。
- [リスト] へカーソルを合わせ『ENT』ボタンを押します。
※条件なしで全ての録画データが表示されます。

《検索再生》

検索した映像を再生するには『PLAY』ボタンを押して下さい。すると再生が始まり画面左上に“▶”マークが数秒表示されます。

《検索 早送り再生》

『▶▶』ボタンを押すと“2倍”の早送り映像になり“▶▶×2”マークが数秒表示されます。さらに押すと“4倍 / 8倍 / 16倍”の早送り映像へ変化します。

《検索 早戻し再生》

『◀◀』ボタンを押すと“2倍”の早戻し映像になり“◀◀×2”マークが数秒表示されます。さらに押すと“4倍 / 8倍 / 16倍”の早戻し映像へ変化します。

《停止》

『STOP』ボタンを押すと停止します。
映像は選択した時間のデータのみを繰り返し再生します。

《データ検索》

SDカードに保存されている他のデータを検索します。

『▲ / ▼』ボタンを押してデータを検索します。

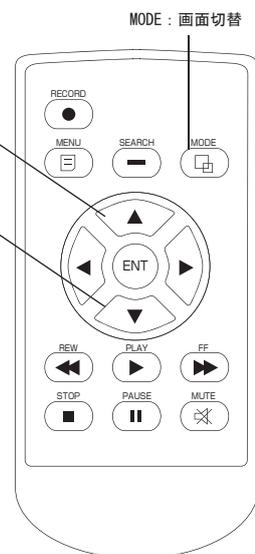
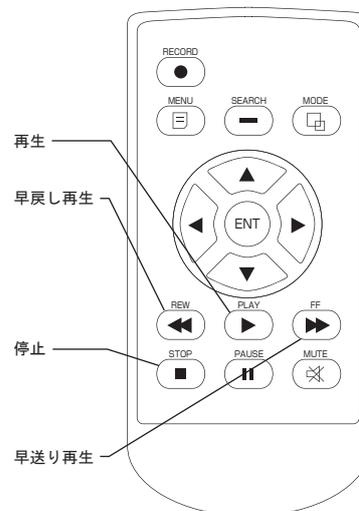
『▲』ボタン
より新しいデータへ移動

『▼』ボタン
より古いデータへ移動

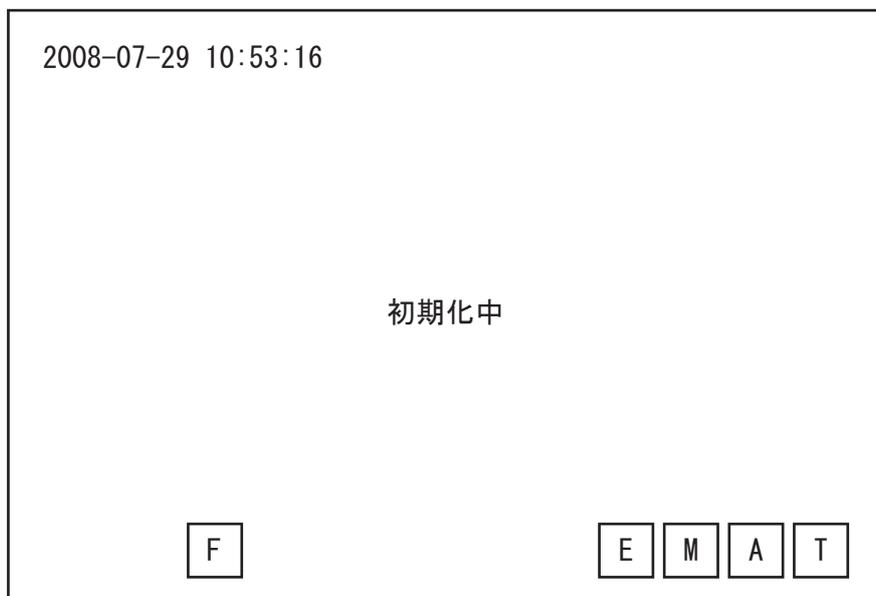
最新データが出ると『▲』ボタンを押しても画面は変わりません。『▼』ボタンで時間帯を戻して検索して下さい。

- 検索再生中でも『▲ / ▼』ボタンを押して次の時間帯のデータへジャンプ出来ます。
- 検索再生中『MODE』ボタンを押すと現在の映像に切り替わります。再度押すと「検索再生」の画面に戻ります。

※録画中は「検索再生」は出来ません。
一旦録画を止めてから行ってください。



8 画面表示



8.1 表示メッセージ

初期化中 しばらくお待ちください	MINID400の起動時に表示されます。 再生モードとライブモード時の切替時や スクリーンモードとOSDメニューの切替時 に表示されます。
ファイルが見つかりません。	SDカードに録画ファイルがない場合や、 検索対象のファイルがない場合に表示さ れます。
SDカードエラー ビデオ信号無し SDカードがロックされています	SDカードのエラー時に表示されます。 ビデオ信号がない場合に表示されます。 SDカードがロックされているかエラーの 場合、表示されます。
SDカードを挿入してください	SDカードがスロットにない場合、表示さ れます。
SDカードフル	SDカードの容量がいっぱいで録画できな い時に表示されます。 (上書きオフの時)
メモリエラー	メモリエラー時に表示されます。

8.2 表示アイコン

E	手動録画
M	モーション録画
A	アラーム録画
T	タイマー録画
F	SDカードの容量がフルの状態

すべてのアイコンは最初は赤で表示されますが白へ変わります。

赤：赤いアイコンは録画処理しています。
しかし、録画を止めれば、ファイルは作られず、保存されません。
(データはファイルを形成するのには十分ではありません)

白：白いアイコンが表示される場合、録画を止めても、録画ファイルを作ることができます。

録画時間目安表

※解像度 704×480の場合

単位：時間

		16GB (SDカード) 録画時間目安表			
フレーム数/秒		30fps	15fps	6fps	1fps
録画時間	High	20	36	64	84
	Normal	28	50	84	110
	Low	50	84	128	152

※解像度 704×240の場合

単位：時間

		16GB (SDカード) 録画時間目安表			
フレーム数/秒		30fps	15fps	6fps	1fps
録画時間	High	24	44	74	96
	Normal	34	60	96	124
	Low	60	96	142	164

※解像度 352×240の場合

単位：時間

		16GB (SDカード) 録画時間目安表			
フレーム数/秒		30fps	15fps	6fps	1fps
録画時間	High	28	50	84	116
	Normal	44	74	116	142
	Low	74	116	158	180

※被写体により録画時間は変化します。録画時間はあくまで目安としてご参照ください。

故障かなと思ったら？

1. 本機へ接続する警報装置はどんな警報装置を購入しなければならないでしょうか。
DC電源を動力とするものであればほとんどの警報装置と互換性をもちます。
2. 映像が映りません。
 - ・電源がオンであることを確かめてください。
 - ・背面パネルの POWER LED が点灯しているか確かめてください。点灯していなければ電源ケーブルが正しく接続されていない場合があります。接続しているケーブルが正確に接続されているかも確認してください。
3. 画面にブルー・スクリーンだけが映る。
本機の映像出力のケーブル・コネクタ等の接続部をチェックして下さい。問題を見つけることが出来ない場合は、カメラ電源ケーブルがしっかり接続されているか確認して下さい。
4. メニューボタンを押してもメニュー画面が開きません。
本機の録画中はメニュー画面は開きません。録画を停止してから操作を行って下さい。
 - ・手動録画（**E** マーク）を終了するためには、再度“RECORD”ボタンを押してください。
E マークが消えたら録画停止です。
 - ・**E** マークを一旦表示してから一定時間（※1）経過の後、再度【RECORD】ボタンを押し、録画を停止してください。

※1：一定時間とは設定している録画コマ数によって変動します。
（最小 POST REC TIME）
5. 画面に SDエラーメッセージが出る。
 - ・SDカードのロックが外れていないか確認してください。ロック状態の時は、画面に「SD CARD LOCKED」と表示され背面パネルの“REC”のLEDが点滅します。
 - ・「SD Memory Check Fail」「SD BUSY Error」「SD Error」「SD initial is Error」のエラーメッセージが表示される場合、SDカードをPC上で再フォーマットを行って下さい。

※尚、エラーメッセージが出る場合は、SDメモリを交換してください。
6. 録画されていない。
 - ・イベント録画の場合
イベント設定内の各設定が“0n”になっているか。またイベント設定内のスケジュール設定をする場合、イベントの設定時間が合っているか確認してください。
7. PCで SDカードに記録された映像データを見るには。
付属のCD-ROMより、専用のビューアソフトをインストールして映像をご覧ください。

アフターサービスと保証

本機が正常に動作しないときは「使用上の注意」、「故障かな?と思われるとき」をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 本製品には保証書を添付しています。(取扱説明書内)
保証書は必ず『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめください。
また、内容をよくお読み頂き、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店へご相談下さい。
修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望に応じて有料修理致します。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、
お買い上げの販売店までご相談ください。
- 保証期間内に、万一故障や不具合が発生した場合には、
保証書の記載内容に基づき、お買い上げ日から1年間無料修理致します。

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

1. お名前
2. ご住所(付近の目標など)
3. 電話番号
4. 製品名
5. 製品型番(本機背面のラベルに記載)
6. 故障の症状・状況など(できるだけ詳しく)
7. ご購入年月日または、使用年数

■ 保 証 書 ■	
商品名：	S/N：
保証期間：お買い上げ日より 1 年間	お買い上げ日 年 月 日
■お客様■	■販売店■
ご住所	
お名前	
お電話	
【故障・修理内容】	
<p>(1) 正常な使用状態で故障し製品保証期間内である場合のみ、お買い上げ店、販売元が無料修理致します。 (2) 保証期間内に無料修理を受けるには、商品と本書を御持参 (又は送付) の上、お買い上げ店へご相談下さい。 (3) 保証期間内でも、次の場合は有料にさせていただきます。 1. 保証書・商品添付の製品番号が無い場合 2. 保証書に、お名前、お買い上げ店及び日付が記載されていない場合 3. 特殊な環境下での故障。消耗品に対するの補償。 4. お買い上げ後の取扱いの誤りや他製品 (外部要因) による故障、製品の自己修理、改造が加えられた場合 5. お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷 6. 火災、地震、風水害、落雷等の天災や公害、虫害、ガス害・異常電圧・指定外の使用電源による故障 7. 各部の点検・保守費用。また、営業上の損失や記録内容等のソフト内容の補償は致しかねます。 ※本製品の故障による二次的損害についてはその責務を負わないものとします。</p>	
 Security System 総販売元	

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、販売店へお問い合わせください。